

令和4年度
デジタル化の進展度と生活の満足度に関する市民アンケート調査

調査の実施概要と回答者の属性

鶴岡市内在住の15歳以上の男女にデジタル化に関するアンケート調査を実施しました。

実施概要

項目	質問項目
実施期間	2022年7月25日～8月12日
対象者	市内在住の15歳以上の男女
配布数	3,000サンプル（紙面郵送配布、紙面郵送回収・Web回答）
回収数	884サンプル（回答率29.5%、紙面・Web回収）

回答者の性別・年代

(N=860 無回答を除く)

区分		合計	15歳以上 20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上 70歳未満	70歳以上
総数		100.0	4.3	5.7	9.9	13.7	18.0	26.5	21.9
性別	男性	43.7	2.2	3.1	4.4	5.8	7.6	11.2	9.4
	女性	56.3	2.1	2.6	5.5	7.9	10.5	15.3	12.4

回答者の性別・居住地域

(N=859 無回答を除く)

区分		合計	鶴岡	藤島	羽黒	楡引	朝日	温海
総数		100.0	74.5	8.0	5.2	4.5	2.6	5.1
性別	男性	43.8	32.9	3.4	2.0	1.7	1.6	2.1
	女性	56.2	41.6	4.7	3.3	2.8	0.9	3.0

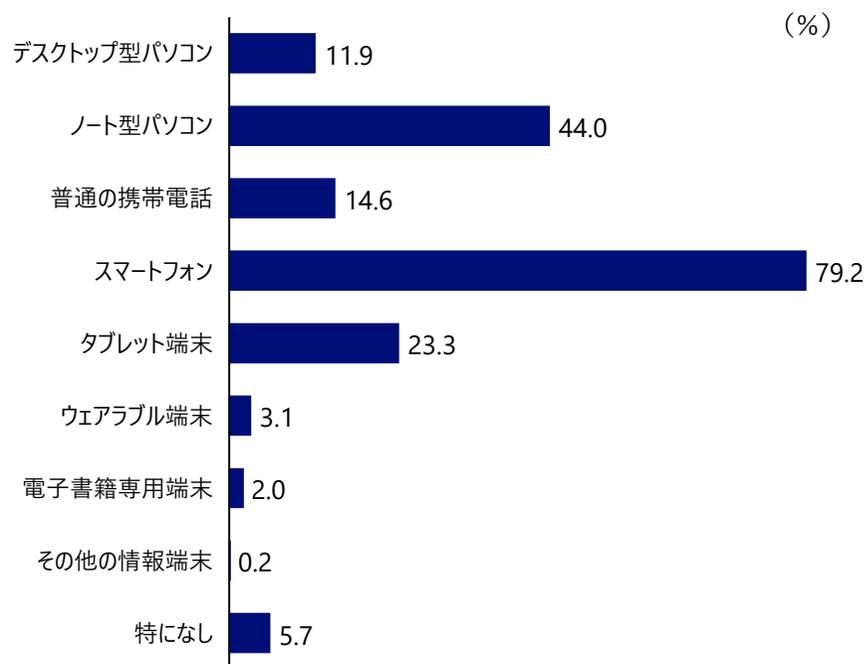
数値（％）は、サンプル数（無回答を含む）に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない

Ⅰ デジタル化の普及と利用状況について

スマートフォンを使用する人が多く、回答者全体の約79%、70歳以上の約45%を占めています。

使用している情報端末について

(N=884)



区分		デスクトップ型パソコン	ノート型パソコン	普通の携帯電話（フィーチャーフォン）	スマートフォン（iPhoneなど）	タブレット端末（iPadなど）	ウェアラブル端末（Appleウォッチなど）	電子書籍専用端末（Kindleなど）	その他の情報端末	特になし	無回答
総数		11.9	44.0	14.6	79.2	23.3	3.1	2.0	0.2	5.7	1.2
性別	男性	18.1	54.5	14.1	79.0	26.3	4.0	1.9	0.5	5.3	1.3
	女性	7.2	36.3	14.4	80.2	21.6	2.5	2.3	0.0	5.6	1.0
年代別	15歳以上20歳未満	13.5	51.4	2.7	89.2	35.1	0.0	8.1	0.0	0.0	0.0
	20歳以上30歳未満	8.2	51.0	2.0	100.0	26.5	10.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳以上40歳未満	14.1	51.8	4.7	95.3	38.8	11.8	4.7	0.0	1.2	0.0
	40歳以上50歳未満	20.3	62.7	1.7	94.1	33.1	6.8	2.5	0.8	0.8	0.8
	50歳以上60歳未満	9.0	52.3	11.0	89.0	31.0	1.9	1.9	0.0	2.6	0.0
	60歳以上70歳未満	13.2	43.4	14.9	82.5	18.4	0.4	1.8	0.4	3.5	0.0
	70歳以上	7.4	20.2	34.0	45.2	8.5	0.0	0.5	0.0	17.6	4.8

【アンケート設問】

Q1 以下の各々の情報端末について、あなたが自分で自由に使えるものとして「持っているもの」に○をつけてください。（○はいくつでも）

複数回答可能としているため、数値（%）の合計は、100%を超える場合がある。

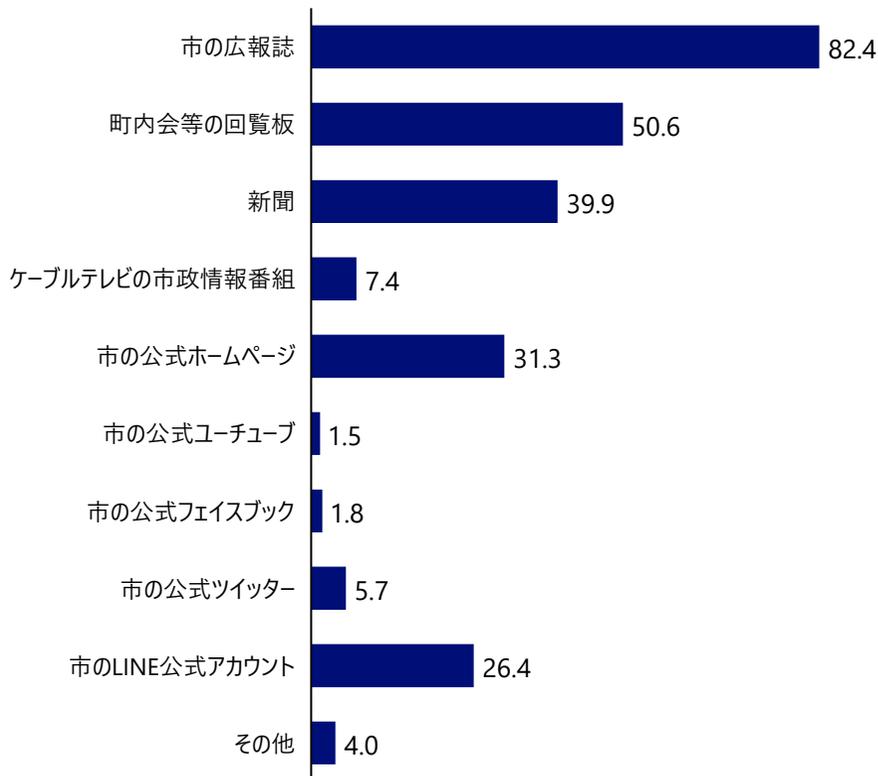
Ⅰ デジタル化の普及と利用状況について

鶴岡市が提供する情報の入手手段は、「市の広報誌」（約82%）が最も多く、令和3年11月にリニューアルしたLINE公式アカウントから情報入手した人は約26%となっています。

鶴岡市が提供する情報の入手手段

(N=884)

(%)



区分		市の広報誌	町内会等の回覧板	新聞	ケーブルテレビの市政情報番組	市の公式ホームページ	市の公式ユーチューブ	市の公式フェイスブック	市の公式ツイッター	市のLINE公式アカウント	その他
総数		82.4	50.6	39.9	7.4	31.3	1.5	1.8	5.7	26.4	4.0
性別	男性	79.5	47.1	35.6	7.2	34.3	2.4	2.4	5.3	22.1	4.5
	女性	84.5	53.4	42.9	7.6	29.3	0.8	1.4	6.2	29.9	3.3
年代別	15歳以上20歳未満	40.5	27.0	27.0	29.7	13.5	0.0	0.0	8.1	13.5	10.8
	20歳以上30歳未満	49.0	16.3	16.3	8.2	34.7	2.0	0.0	26.5	34.7	10.2
	30歳以上40歳未満	67.1	34.1	35.3	9.4	49.4	4.7	3.5	17.6	32.9	11.8
	40歳以上50歳未満	81.4	35.6	21.2	5.1	44.9	0.8	3.4	6.8	39.0	4.2
	50歳以上60歳未満	85.2	46.5	32.9	4.5	44.5	1.9	1.3	4.5	29.7	1.9
	60歳以上70歳未満	93.0	61.0	48.7	7.0	28.5	0.9	2.2	0.9	28.1	0.9
	70歳以上	91.5	71.8	56.9	6.4	10.1	1.1	1.1	1.1	11.2	2.1

【アンケート設問】

Q2 あなたは、鶴岡市が提供する情報を、主にどのような手段で入手していますか。（○はいくつでも）

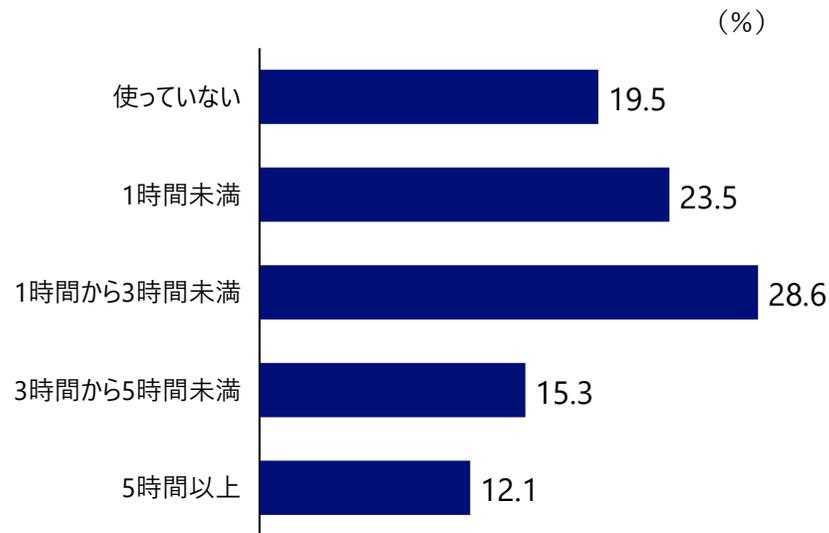
複数回答可能としているため、数値（%）の合計は、100%を超える場合がある。

Ⅰ デジタル化の普及と利用状況について

インターネット利用頻度は、高齢になるほど低下し、70歳以上の半数以上は利用していません。

インターネットの利用状況

(N=884)



区分		使っていない	1時間未満	1時間から3時間未満	3時間から5時間未満	5時間以上	無回答
総数		19.5	23.5	28.6	15.3	12.1	1.0
性別	男性	15.2	23.1	28.7	17.3	14.6	1.1
	女性	22.1	24.1	28.5	13.8	10.5	1.0
年代別	15歳以上20歳未満	2.7	0.0	16.2	48.6	32.4	0.0
	20歳以上30歳未満	0.0	4.1	24.5	20.4	51.0	0.0
	30歳以上40歳未満	2.4	4.7	32.9	35.3	24.7	0.0
	40歳以上50歳未満	2.5	13.6	44.1	21.2	18.6	0.0
	50歳以上60歳未満	7.7	22.6	40.0	18.7	10.3	0.6
	60歳以上70歳未満	18.0	43.4	27.2	5.7	4.4	1.3
	70歳以上	55.9	25.5	12.2	3.7	0.0	2.7

【アンケート設問】

Q3 日頃の生活や学習、仕事などで、インターネットサービス（携帯等のアプリの使用を含む）をどの程度使っていますか。1日当たりのおよその利用時間をお答えください。（パソコン、タブレット、携帯電話、携帯ゲーム機等を含む）（それぞれ〇はひとつ）

数値（%）は、サンプル数（無回答を含む）に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（%）は必ずしも100（%）にならない

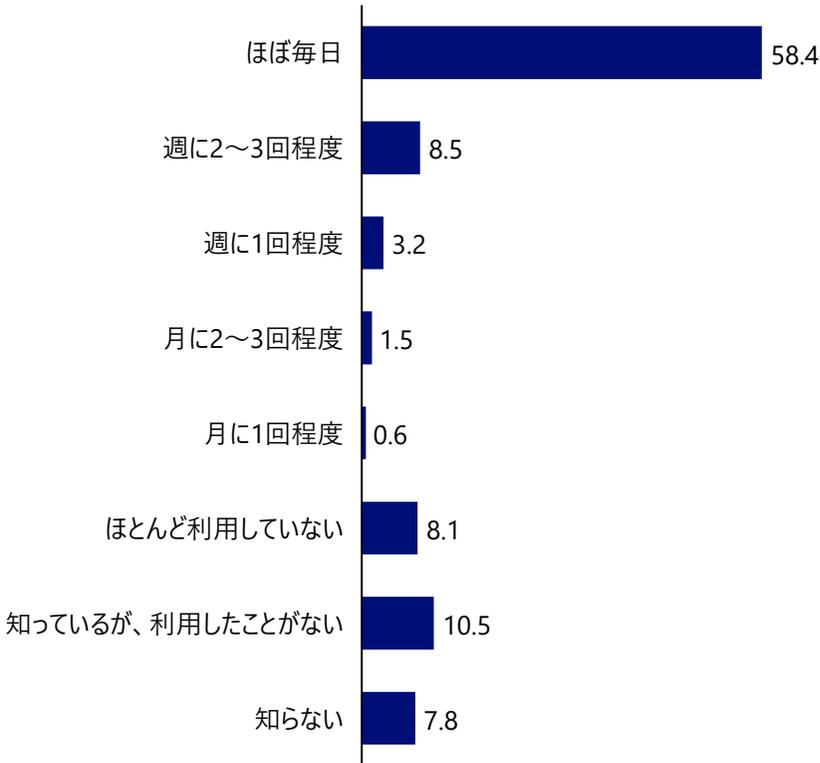
Ⅰ デジタル化の普及と利用状況について

SNSをほぼ毎日利用する人は、全体の約6割で若い世代ほど利用頻度が高くなっています。一方で、70歳以上から利用頻度が急激に低下しています。

SNSの利用状況

(N=884)

(%)



区分		ほぼ毎日	週に2~3回程度	週に1回程度	月に2~3回程度	月に1回程度	ほとんど利用していない	知っているが、利用していない	知らない	無回答
総数		58.4	8.5	3.2	1.5	0.6	8.1	10.5	7.8	1.5
性別	男性	53.2	9.6	4.3	2.1	0.5	11.4	10.6	7.2	1.1
	女性	62.3	7.8	2.5	1.0	0.6	6.0	10.1	8.0	1.6
年代別	15歳以上20歳未満	97.3	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳以上30歳未満	89.8	4.1	4.1	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0
	30歳以上40歳未満	83.5	5.9	2.4	0.0	0.0	5.9	1.2	1.2	0.0
	40歳以上50歳未満	81.4	6.8	1.7	2.5	0.0	3.4	2.5	0.0	1.7
	50歳以上60歳未満	66.5	11.0	0.6	0.0	0.6	9.0	10.3	1.3	0.6
	60歳以上70歳未満	50.4	11.8	6.1	2.2	1.8	10.5	12.3	3.9	0.9
	70歳以上	19.1	7.4	3.7	2.7	0.0	13.3	21.3	28.7	3.7

【アンケート設問】

Q4 Facebook（フェイスブック）やLINE（ライン）などのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）をどの程度使用していますか。（それぞれ○はひとつ）

数値（%）は、サンプル数（無回答を含む）に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（%）は必ずしも100（%）にならない

Ⅰ デジタル化の普及と利用状況について

約 5 割が、インターネットニュースや娯楽・スポーツ配信サービスを利用しています。
20～50代では、ネットショッピング、娯楽・スポーツサービスの利用率が非常に高くなっています。

インターネットサービスの利用状況

(N=884)



区分		テレワーク、テレビ会議	オンライン授業・講座・研修	行政手続き、行政への問合せ	ニュース	読書（電子書籍）	娯楽・スポーツ（音楽、映画、ゲーム、動画の視聴）	インターネットショッピング（水・食料品など日用品）	インターネットショッピング（洋服など買い回り品）	銀行（口座の残高照会やネットバンキング）	医師への相談、診断	オンラインフィットネス、健康管理等のアプリ	出会いを目的としたマッチングアプリ	あてはまるものはない
総数		12.0	13.6	10.2	54.0	15.0	52.0	28.5	39.6	25.6	1.2	5.1	1.6	19.1
性別	男性	16.0	15.2	13.0	59.8	18.4	57.4	30.3	42.6	32.7	1.9	4.5	2.4	15.7
	女性	9.1	12.6	8.2	49.5	12.6	48.5	27.2	38.1	21.2	0.8	5.6	1.0	21.6
年代別	15歳以上20歳未満	0.0	27.0	0.0	51.4	32.4	89.2	18.9	51.4	16.2	0.0	5.4	0.0	0.0
	20歳以上30歳未満	26.5	30.6	14.3	59.2	44.9	93.9	40.8	61.2	40.8	4.1	8.2	8.2	2.0
	30歳以上40歳未満	23.5	20.0	18.8	68.2	32.9	88.2	55.3	75.3	51.8	3.5	14.1	4.7	2.4
	40歳以上50歳未満	22.9	32.2	16.1	66.9	27.1	73.7	46.6	62.7	42.4	1.7	8.5	2.5	3.4
	50歳以上60歳未満	15.5	12.3	15.5	62.6	13.5	56.1	41.9	54.8	38.1	0.6	5.8	1.3	7.7
	60歳以上70歳未満	8.3	6.6	8.8	54.8	5.7	42.1	16.7	25.0	15.8	0.0	2.6	0.4	23.2
	70歳以上	0.5	1.6	1.6	30.3	1.1	14.4	7.4	8.5	5.3	1.6	0.5	0.0	48.9

【アンケート設問】

Q5 以下のインターネットサービスを利用していますか（利用したことがありますか）。 利用している（利用したことがある）サービスに○をつけてください。（それぞれ○はいくつでも）

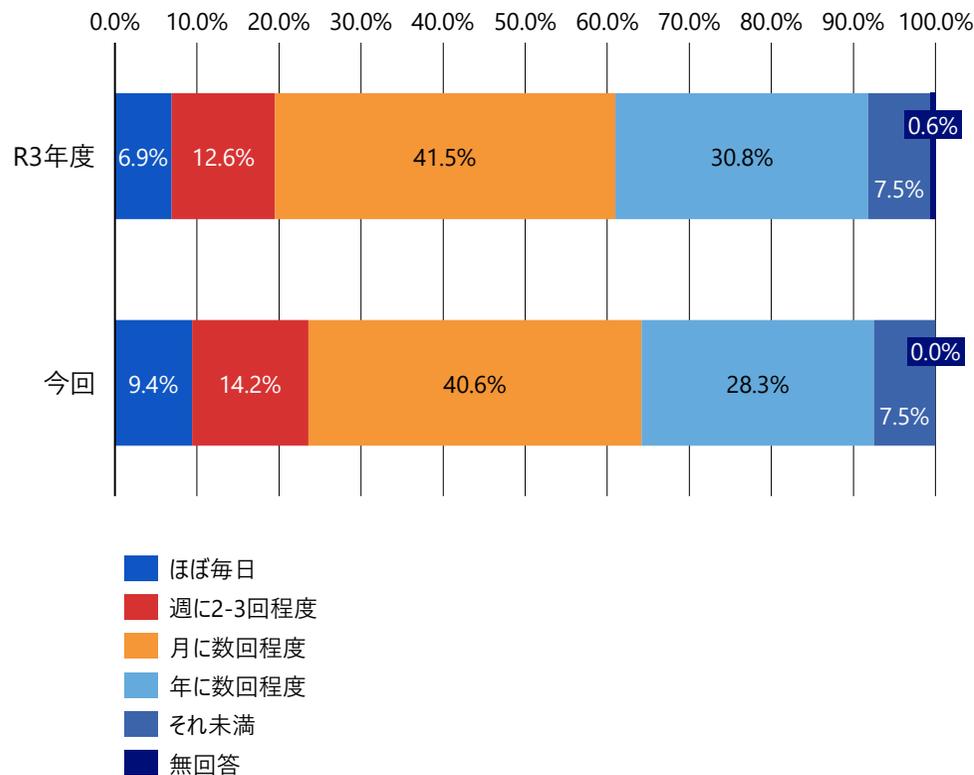
複数回答可能としているため、数値（％）の合計は、100%を超える場合がある。

Ⅰ デジタル化の普及と利用状況について

テレワーク実施頻度は、昨年度よりもわずかに増加しています。

テレワークの実施頻度

(N=106)



区分		ほぼ毎日	週に2-3回程度	月に数回程度	年に数回程度	それ未満	無回答
総数		9.4	14.2	40.6	28.3	7.5	0.0
性別	男性	8.3	15.0	43.3	23.3	10.0	0.0
	女性	6.8	13.6	38.6	36.4	4.5	0.0
年代別	15歳以上20歳未満	-	-	-	-	-	-
	20歳以上30歳未満	15.4	15.4	23.1	23.1	23.1	0.0
	30歳以上40歳未満	5.0	20.0	55.0	15.0	5.0	0.0
	40歳以上50歳未満	3.7	7.4	48.1	33.3	7.4	0.0
	50歳以上60歳未満	4.2	20.8	41.7	33.3	0.0	0.0
	60歳以上70歳未満	15.8	10.5	26.3	36.8	10.5	0.0
	70歳以上	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

【アンケート設問】

Q5-1 Q5で「テレワーク、テレビ会議」を選択した人にうかがいます。どの程度の頻度で、テレワーク、テレビ会議を実施していますか（いましたか）。（それぞれ〇はひとつ）

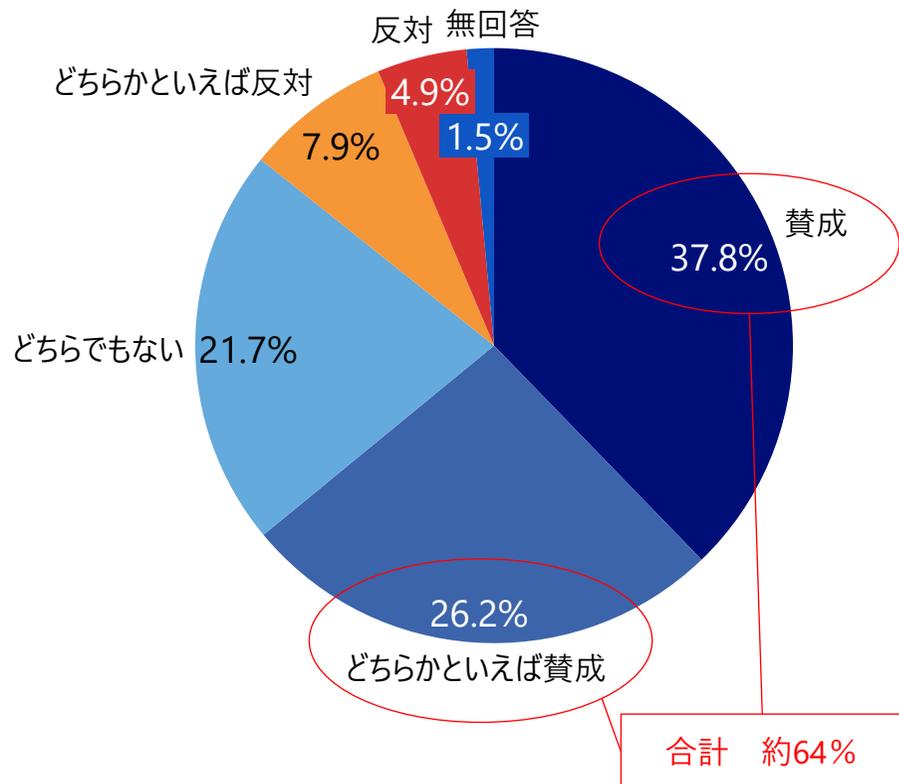
数値（％）は、サンプル数（無回答を含む）に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない

Ⅰ デジタル化の普及と利用状況について

電子市役所について肯定的なお考えをもつ人が回答者の約64%を占めています。

電子市役所についてのお考え

(N=884)



区分		賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無回答
総数		37.8	26.2	21.7	7.9	4.9	1.5
性別	男性	44.9	23.4	17.0	9.6	4.0	1.1
	女性	33.2	27.8	25.2	6.4	5.8	1.6
年代別	15歳以上20歳未満	54.1	21.6	16.2	2.7	5.4	0.0
	20歳以上30歳未満	65.3	28.6	4.1	0.0	2.0	0.0
	30歳以上40歳未満	61.2	20.0	11.8	3.5	3.5	0.0
	40歳以上50歳未満	55.9	28.8	12.7	0.8	1.7	0.0
	50歳以上60歳未満	42.6	28.4	19.4	5.8	3.2	0.6
	60歳以上70歳未満	28.5	30.3	28.9	7.5	4.4	0.4
	70歳以上	15.4	19.7	29.8	19.1	10.6	5.3

【アンケート設問】

Q6 あなたは、効率化やサービス向上を目的として、市役所の窓口に行かなくても、インターネットやスマートフォンなどの通信を使って、各種の申請手続きや公的な証明書の入手等が行えるようにすることについて、どのようにお考えですか。(○はひとつ)

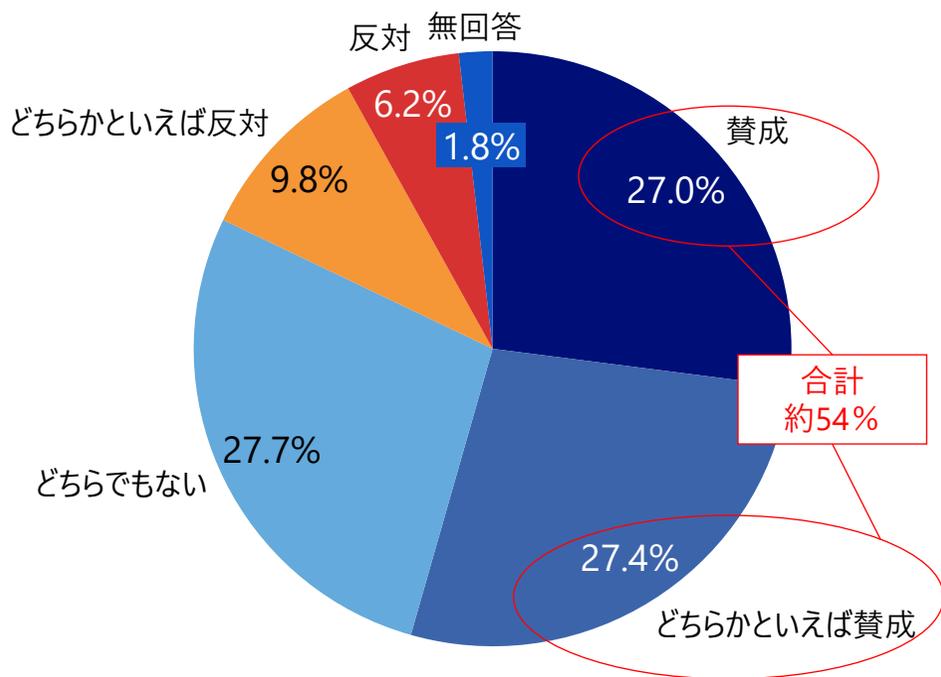
数値 (%) は、サンプル数 (無回答を含む) に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値 (%) は必ずしも100 (%) にならない

Ⅰ デジタル化の普及と利用状況について

オープンデータ化について肯定的なお考えをもつ人が回答者の約54%を占めています。

オープンデータ化について（行政が保有しているデータを必要とする人が利用できるようにすること）

(N=884)



区分		人数	賛成	どちらかといえば賛成	どちらでもない	どちらかといえば反対	反対	無回答
総数		100.0	27.0	27.4	27.7	9.8	6.2	1.8
性別	男性	100.0	36.7	24.5	21.8	10.4	5.3	1.3
	女性	100.0	20.0	29.5	31.5	9.7	7.2	2.1
年代別	15歳以上20歳未満	100.0	40.5	16.2	24.3	13.5	5.4	0.0
	20歳以上30歳未満	100.0	42.9	28.6	16.3	6.1	6.1	0.0
	30歳以上40歳未満	100.0	38.8	25.9	23.5	5.9	5.9	0.0
	40歳以上50歳未満	100.0	31.4	31.4	27.1	5.9	3.4	0.8
	50歳以上60歳未満	100.0	31.0	34.2	20.6	5.8	7.7	0.6
	60歳以上70歳未満	100.0	22.8	25.9	35.5	10.5	4.8	0.4
	70歳以上	100.0	15.4	23.4	27.7	17.6	9.6	6.4

【アンケート設問】

Q7 あなたは、経済活性化や市民サービス向上を目的として、行政が保有しているデータ（個人情報を除く）を必要とする人が利用できるようにすることに賛成ですか。（○はひとつ）

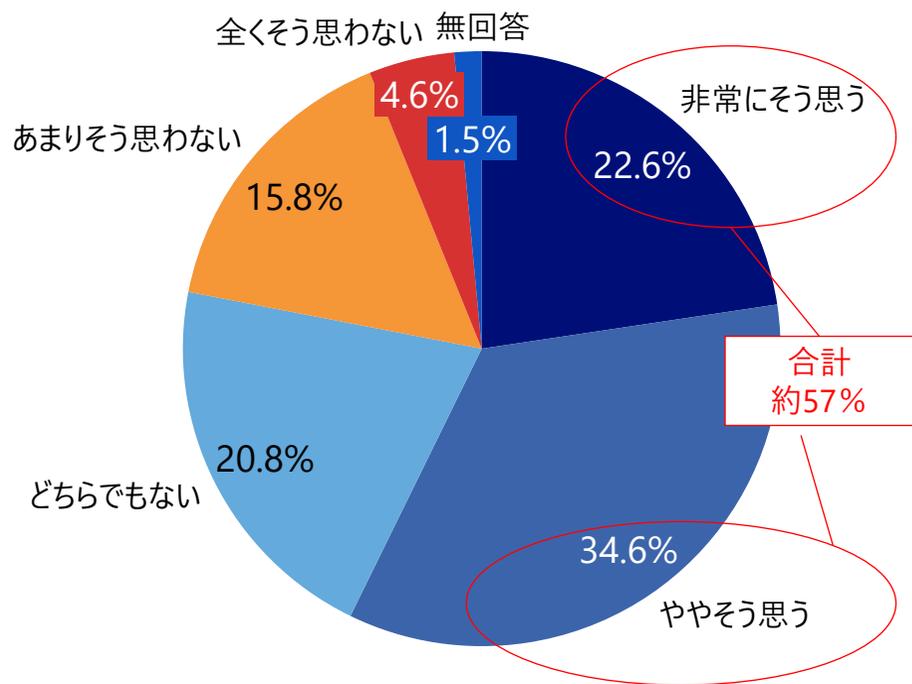
数値（%）は、サンプル数（無回答を含む）に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（%）は必ずしも100（%）にならない

Ⅰ デジタル化の普及と利用状況について

デジタル化の進展が生活の利便性や快適さをもたらすと考える人が約6割を占めています。

デジタル化の進展が、あなた自身の生活に利便性や快適さをもたらすと思いますか

(N=884)



区分		非常にそう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	全くそう思わない	無回答
総数		22.6	34.6	20.8	15.8	4.6	1.5
性別	男性	30.1	34.3	18.4	11.2	5.1	1.1
	女性	17.3	34.8	22.9	18.8	4.5	1.6
年代別	15歳以上20歳未満	59.5	21.6	10.8	5.4	2.7	0.0
	20歳以上30歳未満	46.9	40.8	8.2	2.0	2.0	0.0
	30歳以上40歳未満	35.3	43.5	14.1	3.5	3.5	0.0
	40歳以上50歳未満	32.2	49.2	11.9	5.1	1.7	0.0
	50歳以上60歳未満	25.2	38.7	23.9	8.4	3.2	0.6
	60歳以上70歳未満	14.0	34.2	25.0	21.9	4.4	0.4
	70歳以上	6.9	19.7	27.1	30.9	10.1	5.3

【アンケート設問】

Q8 あなたは、高度な情報通信技術や電子データの収集・分析及び伝達技術を利用した様々な製品やサービスが普及することが、あなた自身の生活に利便性や快適さをもたらすと思いますか。(○はひとつ)

数値 (%) は、サンプル数 (無回答を含む) に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値 (%) は必ずしも100 (%) にならない

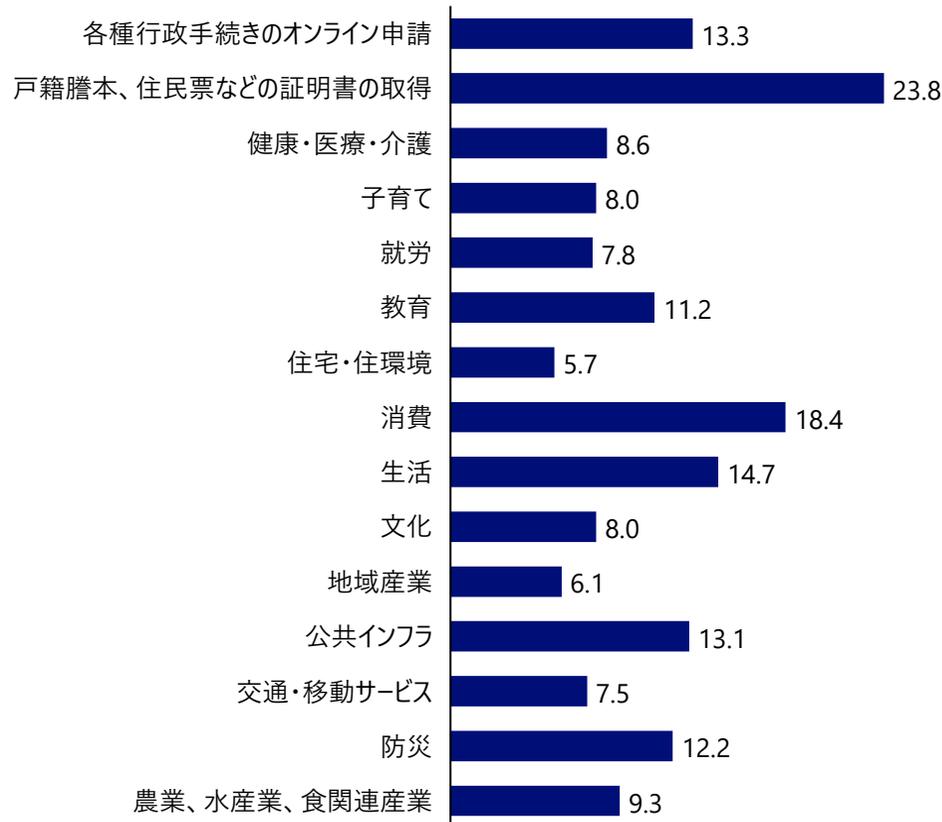
Ⅰ デジタル化の普及と利用状況について

地域のデジタル化が進んでいると感じている人は少なく、「わからない」と回答する人が半数程度を占めています。

デジタル化の進展度について

(N=884)

「進んでいる」と「やや進んでいる」の合計 (%)



【アンケート設問】

Q9 あなたは、お住まいの地域におけるデジタル化の進展度について、どのようにお考えですか。(それぞれ○はひとつ)

施策分野	進んでいる	やや進んでいる	やや遅れている	遅れている	わからない	無回答
各種行政手続きのオンライン申請(助成金等の申請等)	2.8	10.5	15.6	17.0	51.5	2.6
戸籍謄本、住民票などの証明書の取得	6.3	17.4	14.6	11.7	47.4	2.6
健康・医療・介護(オンライン診療やヘルスケア情報の提供、見守りサービス等)	0.8	7.8	14.5	18.8	55.2	2.9
子育て(母子健康手帳の発行、子育て支援情報の提供等)	1.5	6.6	11.0	10.5	67.0	3.5
就労(テレワーク、TV会議等)	1.8	6.0	11.9	18.6	58.3	3.5
教育(オンライン授業・講座・研修等)	2.4	8.8	14.9	15.8	54.8	3.3
住宅・住環境(ホームセキュリティ等の防犯、省エネ等)	1.2	4.4	13.5	20.0	57.1	3.7
消費(キャッシュレス化、地域通貨等)	3.7	14.7	20.0	18.0	40.6	2.9
生活(情報案内、施設・サービスの予約等)	2.3	12.4	21.5	16.6	43.4	3.7
文化(図書館、博物館、美術館、文化会館等のサービスの充実)	1.4	6.7	16.0	17.8	54.9	3.4
地域産業(地域商店街、企業サービス、伝統産業、観光業等の充実)	0.9	5.2	18.7	22.1	49.8	3.4
公共インフラ(電気、ガス、水道等のエネルギー供給等)	2.4	10.7	17.2	16.5	49.9	3.3
交通・移動サービス(自動運転、バス等のロケーション案内、乗車予約、オンデマンドバス/タクシー等)	1.6	5.9	16.4	25.7	47.5	2.9
防災(災害情報の取得、避難場所やルートの案内等)	1.8	10.4	18.0	21.5	45.2	3.1
農業、水産業、食関連産業	1.6	7.7	13.0	16.7	57.7	3.3

Ⅰ デジタル化の普及と利用状況について

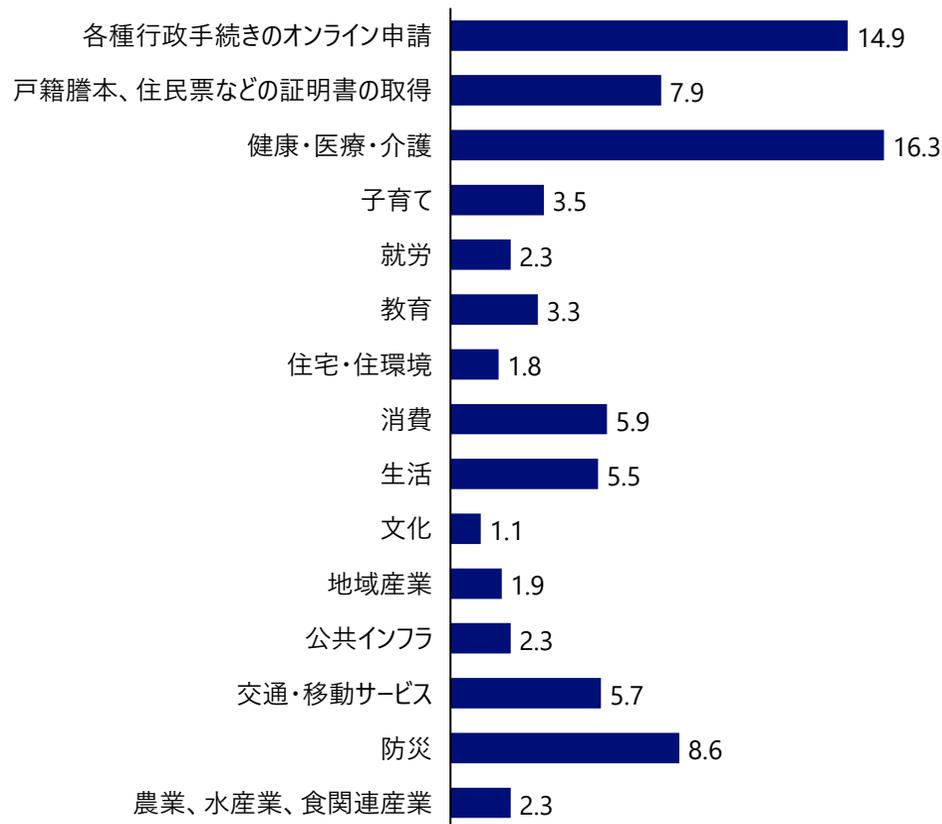
デジタル化が進んで欲しい分野は、「健康・医療・介護」、「行政手続きのオンライン申請」、「防災」の順になっています。

デジタル化が進んで欲しい分野

(N=884)

1位に回答

(%)



施策分野	1位	2位	3位
各種行政手続きのオンライン申請(助成金等の申請等)	14.9	8.8	6.6
戸籍謄本、住民票などの証明書の取得	7.9	10.0	3.4
健康・医療・介護(オンライン診療やヘルスケア情報の提供、見守りサービス等)	16.3	10.6	8.0
子育て(母子健康手帳の発行、子育て支援情報の提供等)	3.5	3.7	3.2
就労(テレワーク、TV会議等)	2.3	2.1	2.0
教育(オンライン授業・講座・研修等)	3.3	4.5	4.6
住宅・住環境(ホームセキュリティ等の防犯、省エネ等)	1.8	3.4	2.6
消費(キャッシュレス化、地域通貨等)	5.9	5.3	6.3
生活(情報案内、施設・サービスの予約等)	5.5	9.2	8.6
文化(図書館、博物館、美術館、文化会館等のサービスの充実)	1.1	2.7	3.4
地域産業(地域商店街、企業サービス、伝統産業、観光業等の充実)	1.9	3.4	3.4
公共インフラ(電気、ガス、水道等のエネルギー供給等)	2.3	4.5	6.2
交通・移動サービス(自動運転、バス等のロケーション案内、乗車予約、オンデマンドバス/タクシー等)	5.7	6.7	8.5
防災(災害情報の取得、避難場所やルートの案内等)	8.6	5.8	10.4
農業、水産業、食関連産業	2.3	1.2	3.7

【アンケート設問】

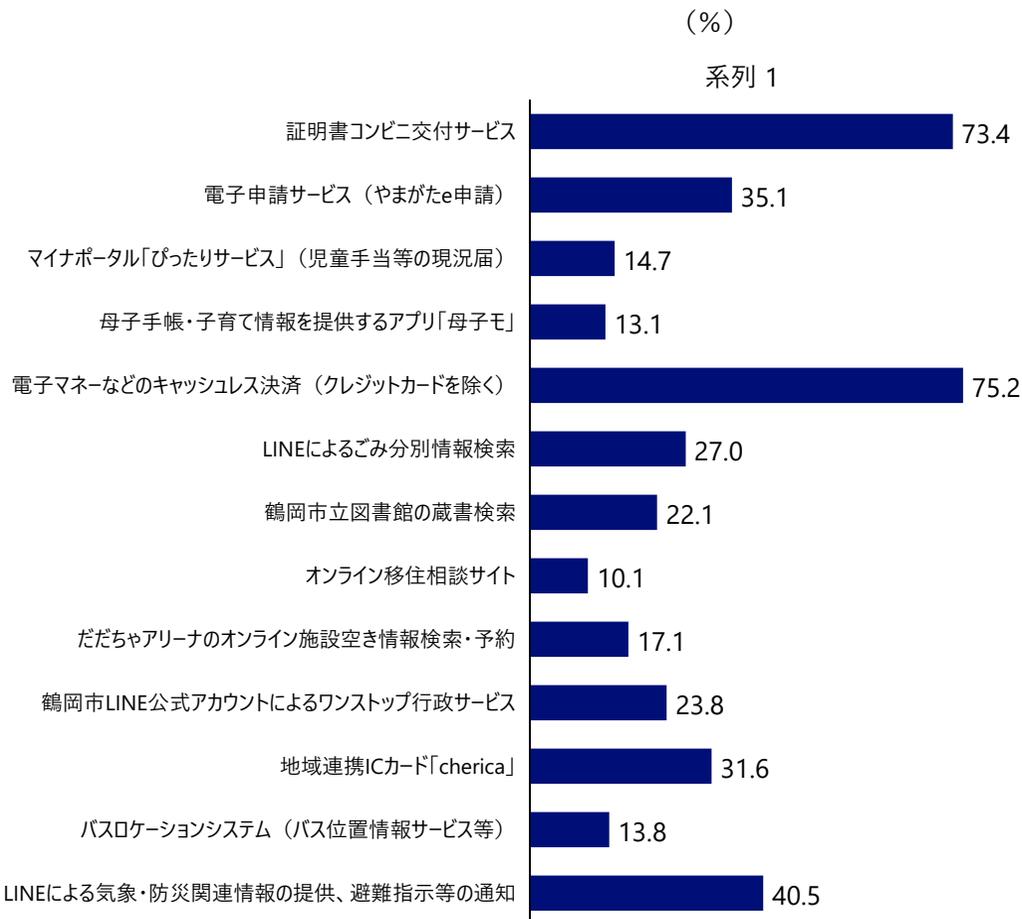
Q9-1 Q9の①～⑮の中で、あなたがお住まいの地域で、最もデジタル化が進んで欲しいと考えるものを上位3つまで選んで、回答欄に番号を記入して下さい。

Ⅰ デジタル化の普及と利用状況について

先行して取り組まれてきた「キャッシュレス決済」、「証明書コンビニ交付サービス」に対する認知度が高く、7割以上が「知っている」と回答しています。

「知っているが、利用したことはない」と「知っていて、利用したことがある」の合計

(N=884)



デジタル化施策	知っているが、利用したことはない	知っていて、利用したことがある	知らない	無回答
証明書コンビニ交付サービス	56.1	17.3	24.1	2.5
電子申請サービス(やまがたe申請)	28.5	6.6	62.1	2.8
マイナポータル「びったりサービス」(児童手当等の現況届)	12.4	2.3	81.7	3.6
母子手帳・子育て情報を提供するアプリ「母子モ」	10.3	2.8	82.4	4.5
電子マネーなどのキャッシュレス決済(クレジットカードを除く)	29.8	45.5	21.8	2.9
LINEによるごみ分別情報検索	15.0	12.0	69.7	3.3
鶴岡市立図書館の蔵書検索	14.4	7.7	75.0	2.9
オンライン移住相談サイト	9.4	0.7	87.2	2.7
だだちゃアリーナのオンライン施設空き情報検索・予約	15.4	1.7	80.2	2.7
鶴岡市LINE公式アカウントによるワンストップ行政サービス	17.4	6.3	73.5	2.7
地域連携ICカード「cherica」	29.1	2.5	65.3	3.2
バスロケーションシステム(バス位置情報サービス等)	12.0	1.8	83.4	2.8
LINEによる気象・防災関連情報の提供、避難指示等の通知	29.6	10.9	56.7	2.8

【アンケート設問】

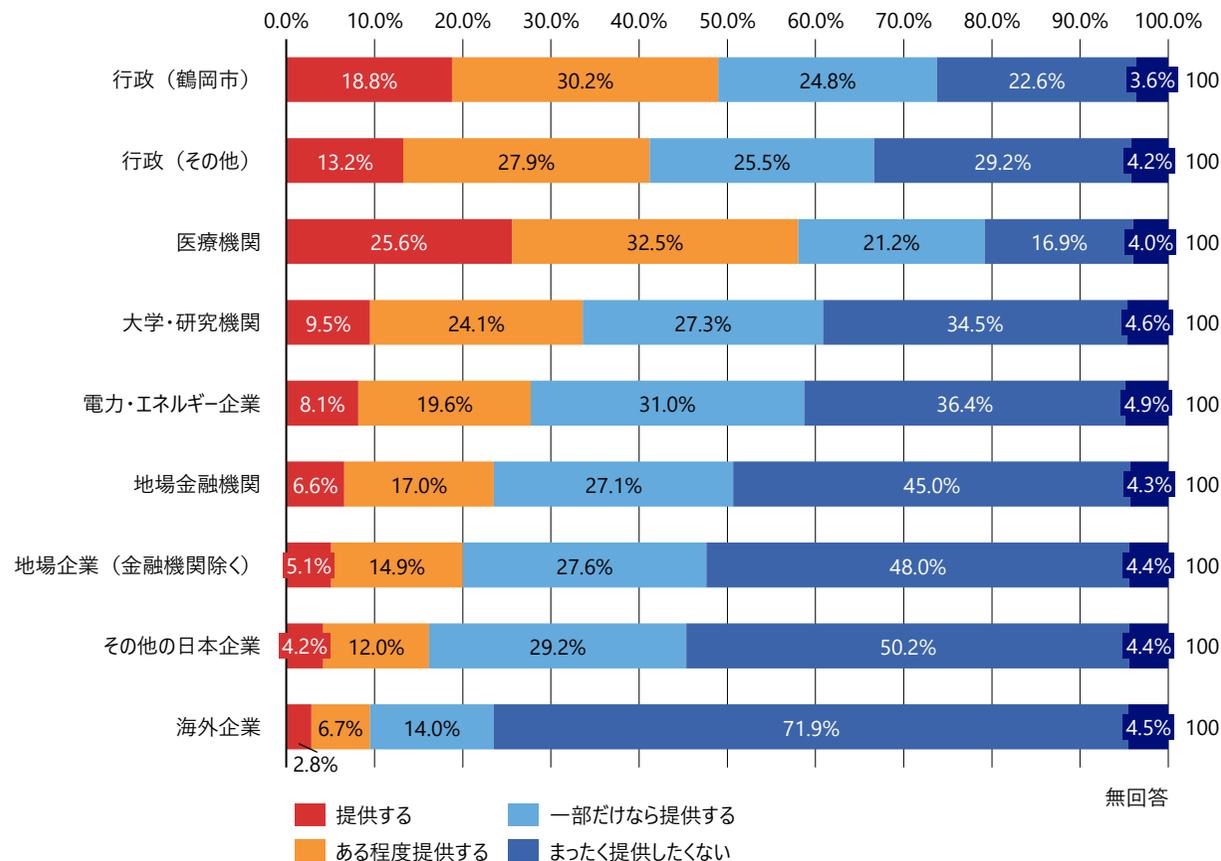
Q10 あなたは、次のデジタルサービスをご存じですか。(それぞれ○はひとつ)

Ⅰ デジタル化の普及と利用状況について

個人情報提供先として、鶴岡市役所に対する信頼度が医療機関に次いで高く、「一部だけなら提供する」を含めると7割以上が提供意思があることがわかりました。

個人情報の提供について

(N=884)



	提供する	ある程度提供する	一部だけなら提供する	まったく提供したくない	無回答
行政（鶴岡市）	18.8	30.2	24.8	22.6	3.6
行政（その他）	13.2	27.9	25.5	29.2	4.2
医療機関	25.6	32.5	21.2	16.9	4.0
大学・研究機関	9.5	24.1	27.3	34.5	4.6
電力・エネルギー企業	8.1	19.6	31.0	36.4	4.9
地場金融機関	6.6	17.0	27.1	45.0	4.3
地場企業（金融機関除く）	5.1	14.9	27.6	48.0	4.4
その他の日本企業	4.2	12.0	29.2	50.2	4.4
海外企業	2.8	6.7	14.0	71.9	4.5

【アンケート設問】

Q11 あなたは、個人情報保護されることを条件として、以下の主体から、サービス向上のために自分の個人情報の提供を求められた場合、提供しようと思いますか。（それぞれ○はひとつ）

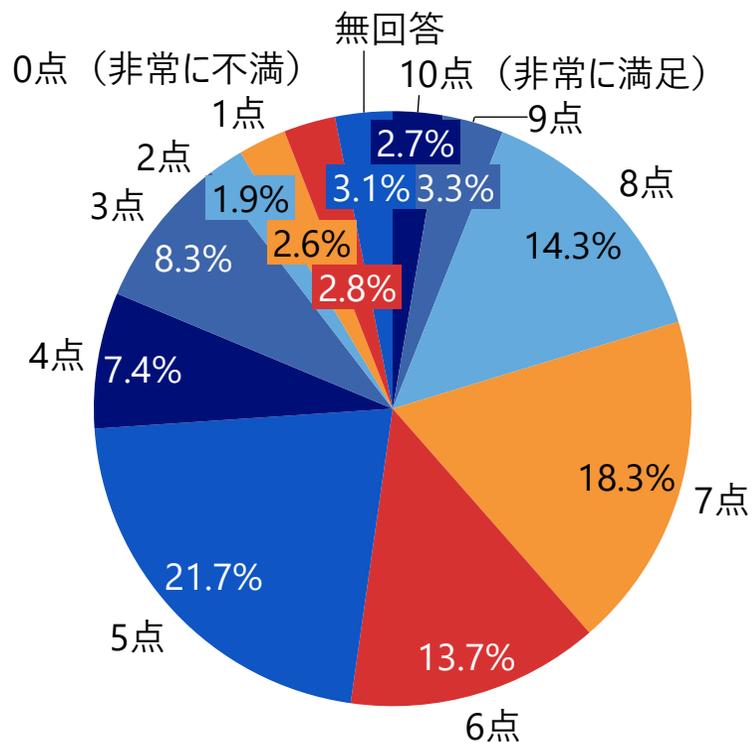
数値（％）は、サンプル数（無回答を含む）に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない

III 生活の満足度・幸福度について

生活の満足度は、10点満点で平均5.7となりました。10～20代では平均が6を上回る一方、働き盛りの30代では4.7となっています。

生活の満足度（全体）

(N=884)



		平均点
総数		5.7
性別	男性	5.6
	女性	5.7
年代別	15歳以上20歳未満	6.4
	20歳以上30歳未満	6.3
	30歳以上40歳未満	4.7
	40歳以上50歳未満	5.6
	50歳以上60歳未満	5.4
	60歳以上70歳未満	5.8
	70歳以上	5.9

平均値を計算する際、分母に無回答者数を含まない

【アンケート設問】

Q21 あなたは全体として現在の生活にどの程度満足していますか。「全く満足していない」を0点、「非常に満足している」を10点とすると、何点くらいになると思いますか。（〇はひとつ）

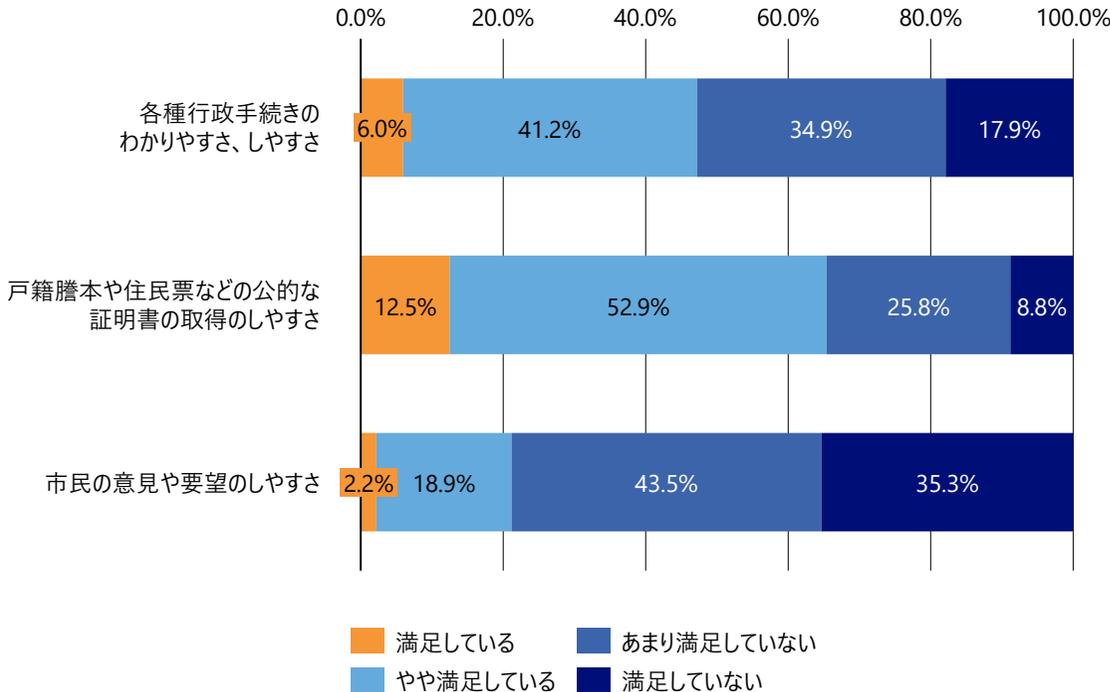
数値（％）は、サンプル数（無回答を含む）に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない

III 生活の満足度・幸福度について

「行政手続きのわかりやすさ」では約47%、「公的な証明書の取得のしやすさ」では約65%の人が「満足している」または「やや満足している」と回答しています。

生活の満足度 A:行政サービス

(N=884)



	満足している	やや満足している	あまり満足していない	満足していない
各種行政手続き(助成金等の申請、確定申告等)のわかりやすさ、しやすさ	6.0	41.2	34.9	17.9
戸籍謄本や住民票などの公的な証明書の取得のしやすさ	12.5	52.9	25.8	8.8
市民の意見や要望のしやすさ	2.2	18.9	43.5	35.3

表の数値は、全回答者数（884人）から「該当しない」と無回答を引いた人数に対する割合

【アンケート設問】

Q22 あなたは、現在の生活環境について、どの程度満足していますか。以下の①~⑳の各項目について、あてはまるものをお選びください。（それぞれ○はひとつずつ）

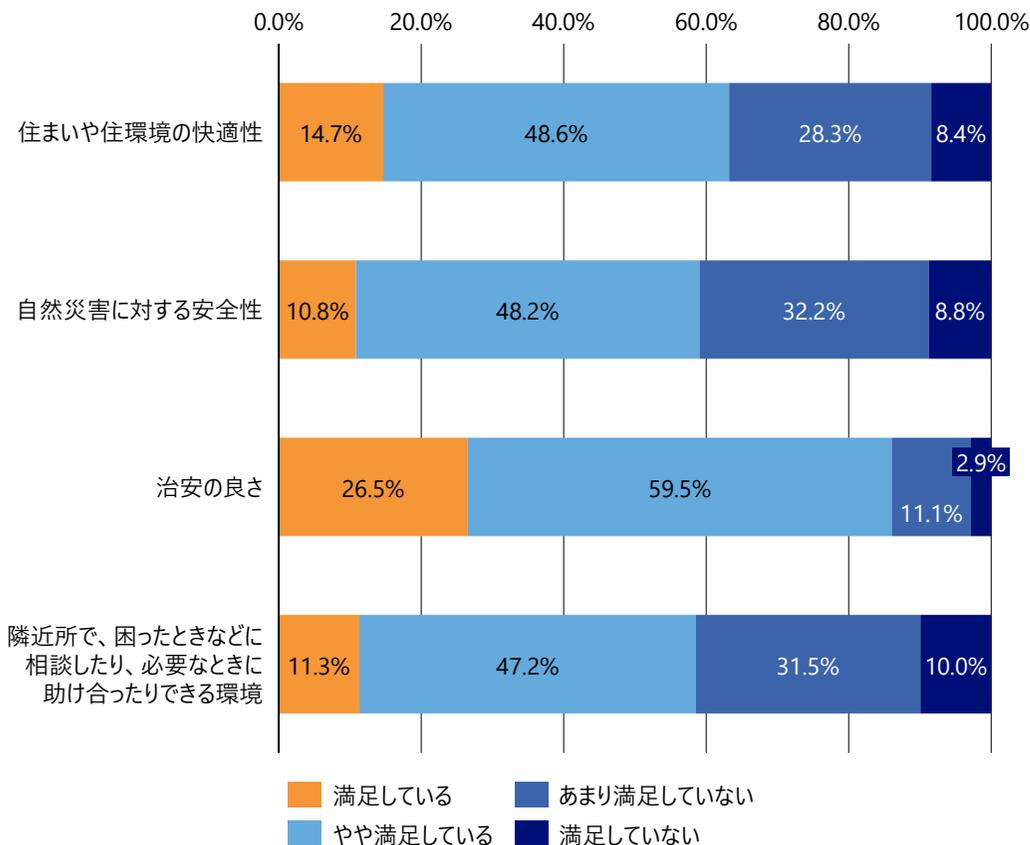
数値（％）は、サンプル数（無回答を含む）に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない

III 生活の満足度・幸福度について

住環境の快適性、自然災害に対する安全性、治安の良さ、隣近所との助け合いが出来る環境に対して、約6~8割の人が「満足している」または「やや満足している」と回答しています。

生活の満足度 B:住環境・安全・安心

(N=884)



	満足している	やや満足している	あまり満足していない	満足していない
住まいや住環境の快適性	14.7	48.6	28.3	8.4
自然災害(地震や津波、台風、豪雨等の水害、土砂災害など)に対する安全性	10.8	48.2	32.2	8.8
治安の良さ	26.5	59.5	11.1	2.9
隣近所で、困ったときなどに相談したり、必要なときに助け合ったりできる環境	11.3	47.2	31.5	10.0

表の数値は、全回答者数（884人）から「該当しない」と無回答を引いた人数に対する割合

【アンケート設問】

Q22 あなたは、現在の生活環境について、どの程度満足していますか。以下の①~⑳の各項目について、あてはまるものをお選びください。（それぞれ○はひとつずつ）

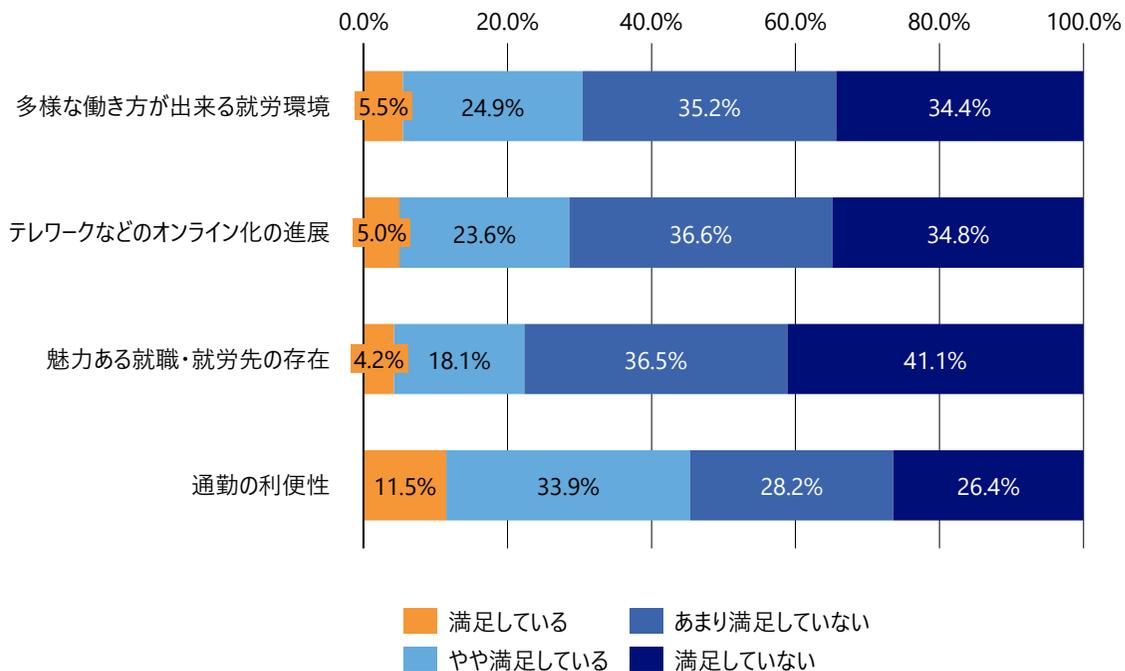
数値（％）は、サンプル数（無回答を含む）に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない

III 生活の満足度・幸福度について

「多様な働き方が出来る就労環境」や「テレワークなどのオンライン化の進展」について満足している人は3割程度で、「魅力ある就職・就労先の存在」では2割程度にとどまっています。

生活の満足度 C:仕事

(N=884)



	満足している	やや満足している	あまり満足していない	満足していない
多様な働き方(在宅勤務、ワーケーション等)が出来る就労環境	3.0	13.5	19.1	18.6
テレワークなどのオンライン化の進展	5.0	23.6	36.6	34.8
魅力ある就職・就労先の存在	4.2	18.1	36.5	41.1
通勤の利便性	11.5	33.9	28.2	26.4

表の数値は、全回答者数（884人）から「該当しない」と無回答を引いた人数に対する割合

ワーケーション：「ワーク」(仕事)と「バケーション」(休暇)を組み合わせた造語で、会社員などが、休暇などで滞在している観光地や帰省先などで働くこと。

【アンケート設問】

Q22 あなたは、現在の生活環境について、どの程度満足していますか。以下の①~⑦の各項目について、あてはまるものをお選びください。（それぞれ○はひとつずつ）

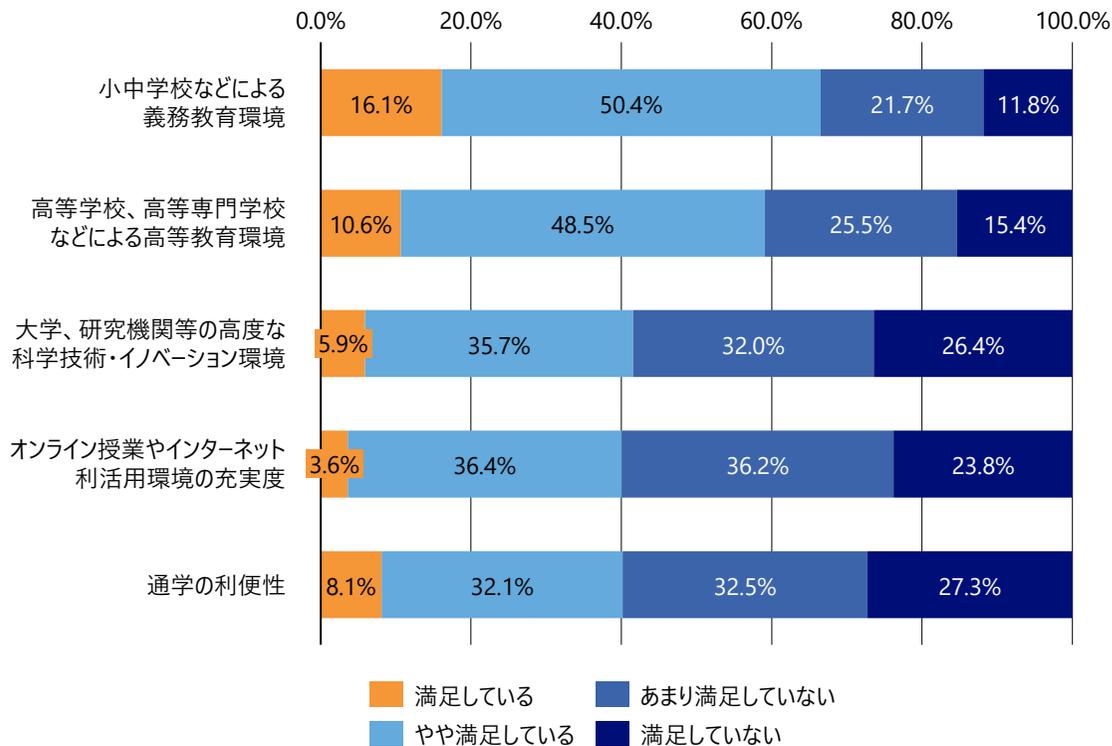
数値（％）は、サンプル数（無回答を含む）に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない

III 生活の満足度・幸福度について

「満足している」「やや満足している」人は、義務教育・高等教育環境では約6割、イノベーション環境やインターネット利活用環境では約4割となっています。

生活の満足度 D:学業

(N=884)



	満足している	やや満足している	あまり満足していない	満足していない
小中学校などによる義務教育環境	16.1	50.4	21.7	11.8
高等学校、高等専門学校などによる高等教育環境	10.6	48.5	25.5	15.4
大学、研究機関等の高度な科学技術・イノベーション環境	5.9	35.7	32.0	26.4
オンライン授業やインターネット利活用環境の充実度	3.6	36.4	36.2	23.8
通学の利便性	8.1	32.1	32.5	27.3

表の数値は、全回答者数（884人）から「該当しない」と無回答を引いた人数に対する割合

【アンケート設問】

Q22 あなたは、現在の生活環境について、どの程度満足していますか。以下の①~⑳の各項目について、あてはまるものをお選びください。（それぞれ○はひとつずつ）

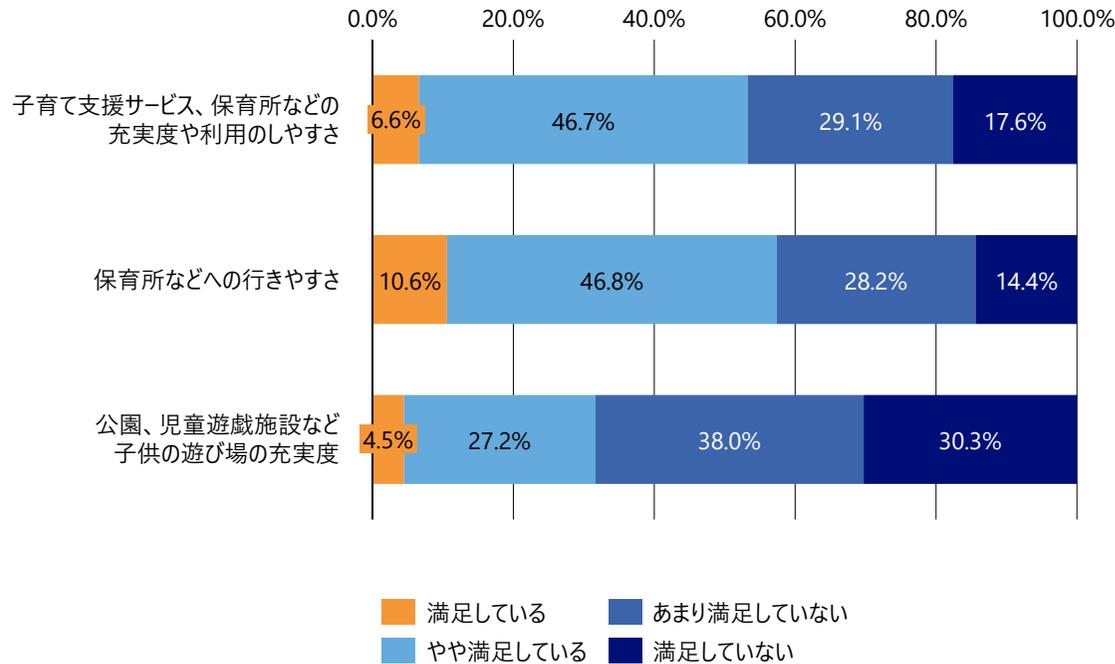
数値（％）は、サンプル数（無回答を含む）に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない

III 生活の満足度・幸福度について

「満足している」「やや満足している」人は、「子育て支援サービス、保育所などの充実度や利用のしやすさ」「保育所などへの行きやすさ」では5割以上となっています。

生活の満足度 E:家事・育児

(N=884)



	満足している	やや満足している	あまり満足していない	満足していない
子育て支援サービス、保育所などの充実度や利用のしやすさ	6.6	46.7	29.1	17.6
保育所などへの送迎のしやすさ	10.6	46.8	28.2	14.4
公園、児童遊戯施設など子供の遊び場の充実度	4.5	27.2	38.0	30.3

表の数値は、全回答者数（884人）から「該当しない」と無回答を引いた人数に対する割合

【アンケート設問】

Q22 あなたは、現在の生活環境について、どの程度満足していますか。以下の①～⑲の各項目について、あてはまるものをお選びください。（それぞれ○はひとつずつ）

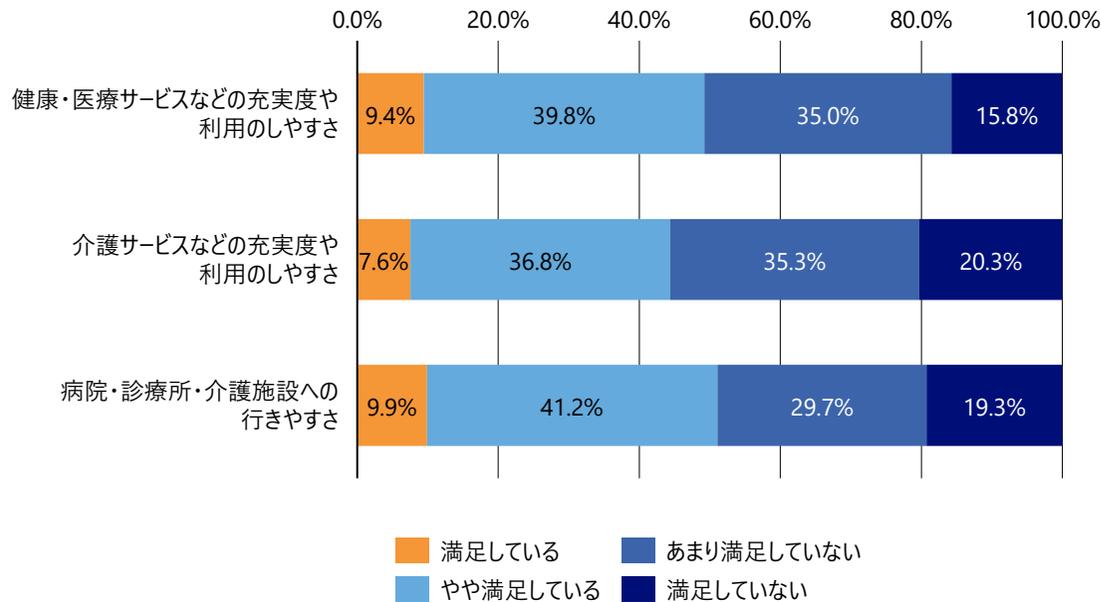
数値（％）は、サンプル数（無回答を含む）に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない

III 生活の満足度・幸福度について

健康・医療サービスの充実度や利用のしやすさ、介護サービス、病院・診療所・介護施設への行きやすさは、いずれも「不満」が「満足」をわずかに上回る結果となっています。

生活の満足度 F:健康・医療・介護

(N=884)



	満足している	やや満足している	あまり満足していない	満足していない
健康・医療サービスなどの充実度や利用のしやすさ	9.4	39.8	35.0	15.8
介護サービスなどの充実度や利用のしやすさ	7.6	36.8	35.3	20.3
病院・診療所・介護施設への行きやすさ	9.9	41.2	29.7	19.3

表の数値は、全回答者数（884人）から「該当しない」と無回答を引いた人数に対する割合

【アンケート設問】

Q22 あなたは、現在の生活環境について、どの程度満足していますか。以下の①~⑳の各項目について、あてはまるものをお選びください。（それぞれ○はひとつずつ）

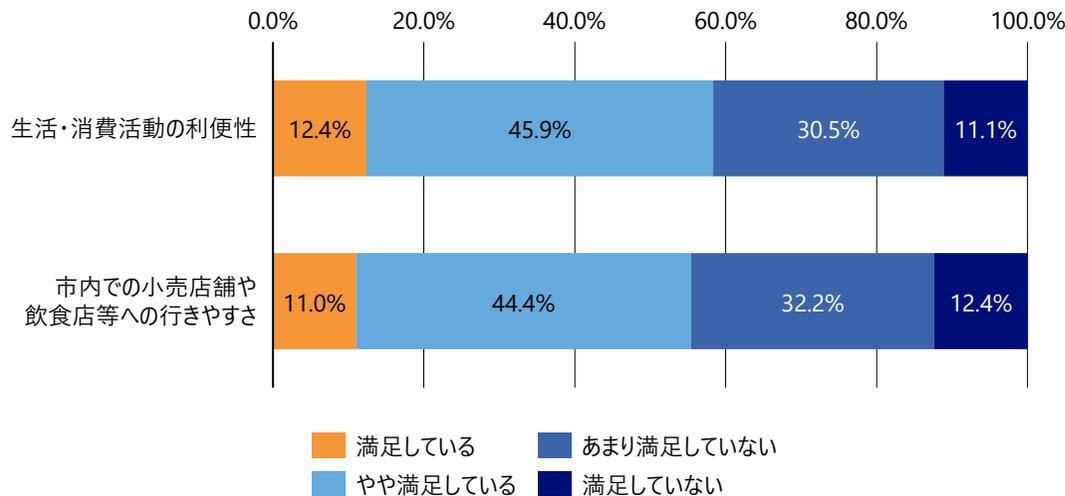
数値（％）は、サンプル数（無回答を含む）に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない

III 生活の満足度・幸福度について

生活・消費活動の利便性に対して、「満足している」または「やや満足している」とする人は6割近くを占めます。

生活の満足度 G:買い物・サービス

(N=884)



	満足している	やや満足している	あまり満足していない	満足していない
生活・消費活動の利便性	12.4	45.9	30.5	11.1
市内での小売店舗や飲食店等への行きやすさ	11.0	44.4	32.2	12.4

表の数値は、全回答者数（884人）から「該当しない」と無回答を引いた人数に対する割合

【アンケート設問】

Q22 あなたは、現在の生活環境について、どの程度満足していますか。以下の①~⑳の各項目について、あてはまるものをお選びください。（それぞれ○はひとつずつ）

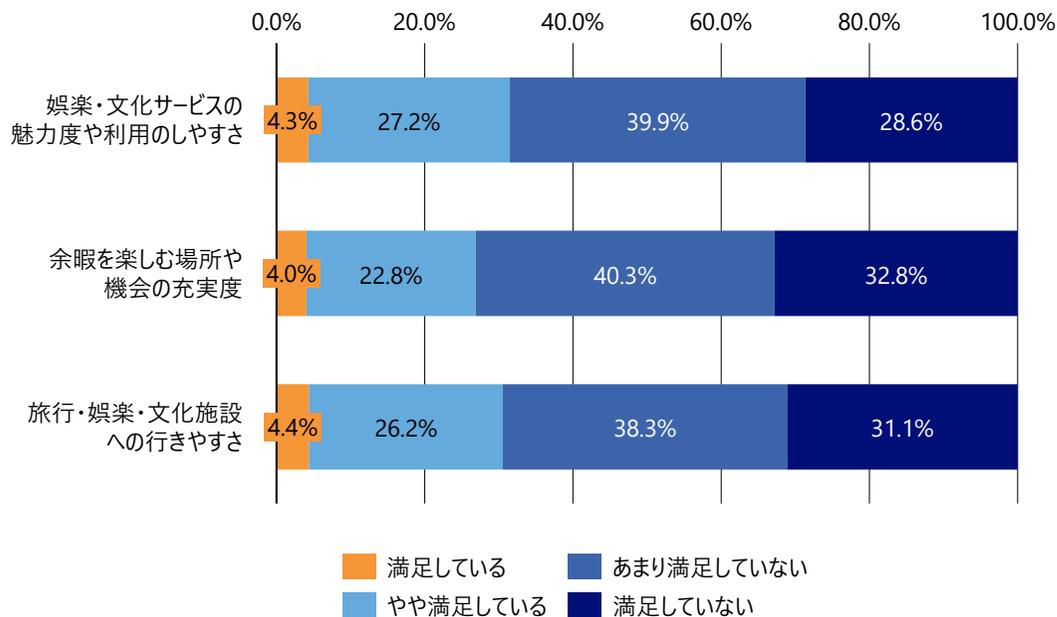
数値（％）は、サンプル数（無回答を含む）に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない

III 生活の満足度・幸福度について

娯楽・文化サービス、余暇機会に対して、「満足している」または「やや満足している」とする人は2割強で、満足していない人の割合が高い傾向にあります。

生活の満足度 H:教養・趣味・娯楽

(N=884)



	満足している	やや満足している	あまり満足していない	満足していない
娯楽・文化サービスの魅力度や利用のしやすさ	4.3	27.2	39.9	28.6
余暇を楽しむ場所や機会の充実度	4.0	22.8	40.3	32.8
旅行・娯楽・文化施設への行きやすさ	4.4	26.2	38.3	31.1

表の数値は、全回答者数（884人）から「該当しない」と無回答を引いた人数に対する割合

【アンケート設問】

Q22 あなたは、現在の生活環境について、どの程度満足していますか。以下の①~⑳の各項目について、あてはまるものをお選びください。（それぞれ○はひとつずつ）

数値（％）は、サンプル数（無回答を含む）に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値（％）は必ずしも100（％）にならない

III 生活の満足度・幸福度について

生活の中で最も重要と考えるものでは、「自然災害に対する安全性」と「魅力ある就職・就労先」となっています。

生活の満足度 最も重要と考えるもの（上位3つ）

(N=884)

1位に回答



	1位	2位	3位
各種行政手続き(助成金等の申請、確定申告等)のわかりやすさ、しやすさ	5.0	1.8	2.2
戸籍謄本や住民票などの公的な証明書の取得のしやすさ	1.4	3.2	1.0
市民の意見や要望のしやすさ	4.0	3.2	5.6
住まいや住環境の快適性	7.7	2.7	4.8
自然災害(地震や津波、台風、豪雨等の水害、土砂災害など)に対する安全性	10.7	7.0	3.8
治安の良さ	2.9	4.3	4.0
隣近所で、困ったときなどに相談したり、必要なときに助け合ったりできる環境	1.6	2.9	4.4
多様な働き方が出来る就労環境	2.7	3.1	2.0
テレワークなどのオンライン化の進展	0.8	1.1	0.8
魅力ある就職・就労先の存在	11.0	7.2	6.2
通勤の利便性	2.6	2.5	2.4
小中学校などによる義務教育環境	2.2	2.7	2.0
高等学校、高等専門学校などによる高等教育環境	1.1	2.0	1.2
大学、研究機関等の高度な科学技術・イノベーション環境	0.6	1.3	1.0
オンライン授業やインターネット活用環境の充実度	1.3	1.1	0.6
通学の利便性	2.4	2.5	1.2
子育て支援サービス、保育所などの充実度や利用のしやすさ	2.1	1.8	4.4
保育所などへの送迎のしやすさ	0.3	0.5	0.4
公園、児童遊戯施設など子供の遊び場の充実度	4.2	3.8	2.0
健康・医療サービスなどの充実度や利用のしやすさ	5.6	6.3	5.4
介護サービスなどの充実度や利用のしやすさ	3.5	4.0	2.4
病院・診療所・介護施設への行きやすさ	7.7	9.7	6.0
生活・消費活動の利便性	5.6	7.9	6.7
市内での小売店舗や飲食店等への行きやすさ	3.4	6.3	5.4
娯楽・文化サービスの魅力度や利用のしやすさ	3.7	3.6	6.3
余暇を楽しむ場所や機会の充実度	4.3	5.4	10.9
旅行・娯楽・文化施設への行きやすさ	1.6	2.2	7.3

【アンケート設問】

Q22-1 Q22の①～⑳の中であなたが最も重要と考えるものを上位3つまで選んで、回答欄に番号を記入した上で、どのような生活環境があれば良いか、具体的に記述してください。

表の数値は、全回答者数（884人）から無回答を引いた人数に対する割合

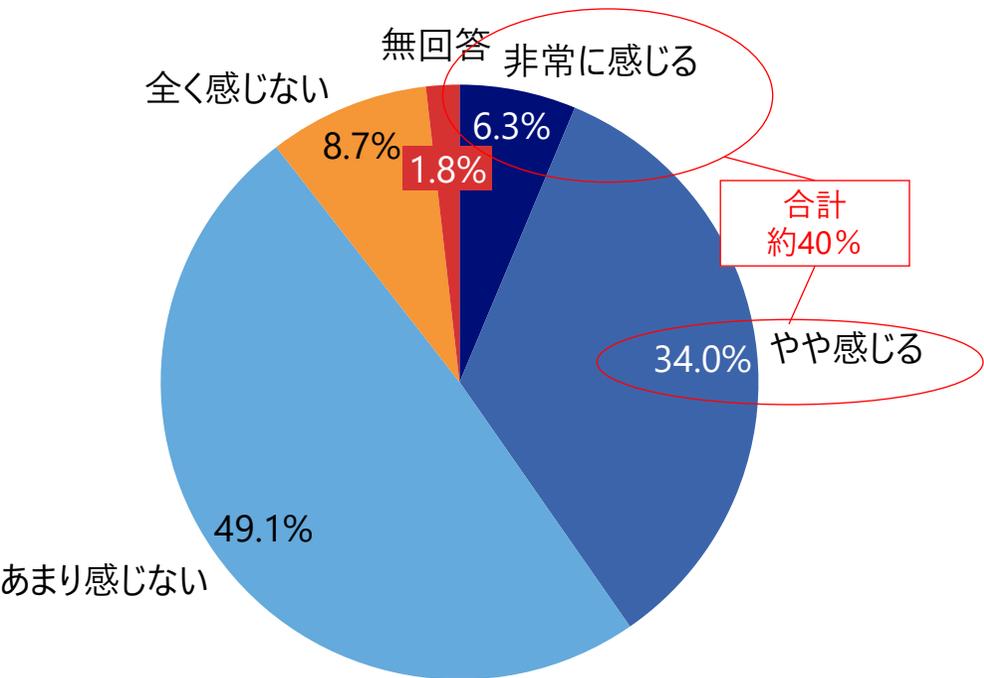
数値 (%) は、サンプル数（無回答を含む）に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値 (%) は必ずしも100 (%) にならない

III 生活の満足度・幸福度について

鶴岡市に将来性を感じている人は、全体の約4割です。

鶴岡市に将来性を感じますか

(N=884)



区分		非常に感じる	やや感じる	あまり感じない	全く感じない	無回答
総数		6.3	34.0	49.1	8.7	1.8
性別	男性	5.6	38.0	43.4	11.7	1.3
	女性	7.0	31.3	54.2	6.8	0.6
年代別	15歳以上20歳未満	8.1	48.6	35.1	8.1	0.0
	20歳以上30歳未満	8.2	53.1	22.4	14.3	2.0
	30歳以上40歳未満	7.1	25.9	47.1	20.0	0.0
	40歳以上50歳未満	4.2	37.3	53.4	5.1	0.0
	50歳以上60歳未満	5.8	29.0	54.2	10.3	0.6
	60歳以上70歳未満	4.8	31.1	55.3	8.3	0.4
	70歳以上	9.0	36.7	46.8	4.8	2.7

【アンケート設問】

Q23 あなたは、鶴岡市に将来性を感じますか。(○はひとつ)

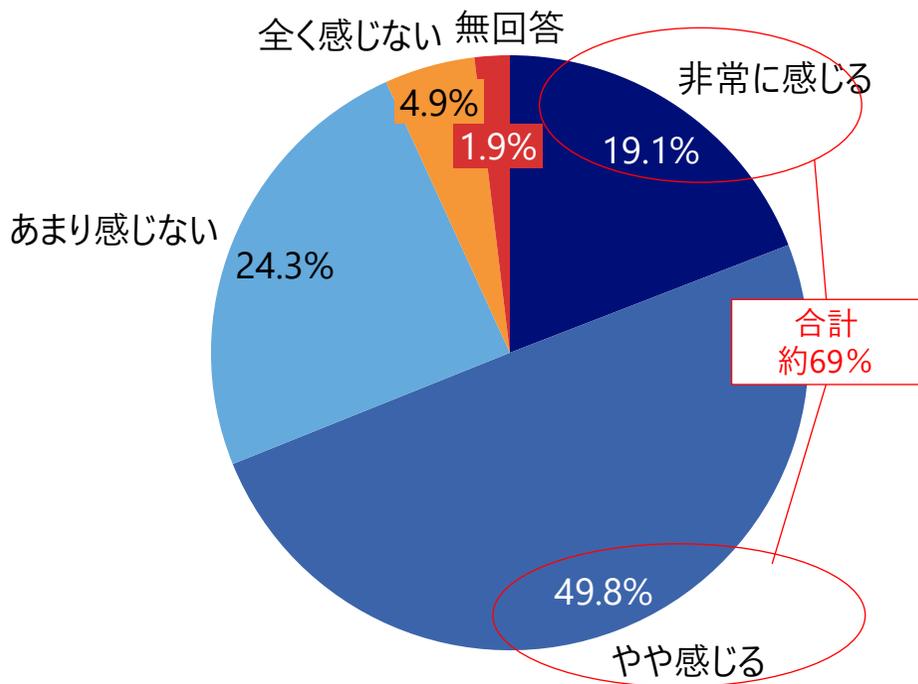
数値(%)は、サンプル数(無回答を含む)に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値(%)は必ずしも100(%)にならない

III 生活の満足度・幸福度について

約7割の人が鶴岡市への愛着や誇りを感じています。

鶴岡市への愛着・誇り

(N=884)



区分		非常に感じる	やや感じる	あまり感じない	全く感じない	無回答
総数		19.1	49.8	24.3	4.9	1.9
性別	男性	18.1	48.1	25.3	6.9	1.6
	女性	20.0	51.8	24.1	3.5	0.6
年代別	15歳以上20歳未満	35.1	37.8	21.6	5.4	0.0
	20歳以上30歳未満	24.5	49.0	22.4	4.1	0.0
	30歳以上40歳未満	14.1	47.1	28.2	10.6	0.0
	40歳以上50歳未満	12.7	50.8	31.4	4.2	0.8
	50歳以上60歳未満	15.5	46.5	31.0	6.5	0.6
	60歳以上70歳未満	22.4	50.9	22.8	3.9	0.0
	70歳以上	20.2	56.4	16.5	3.2	3.7

【アンケート設問】

Q24 あなたは、鶴岡市に対して誇り・愛着を感じますか。(○はひとつ)

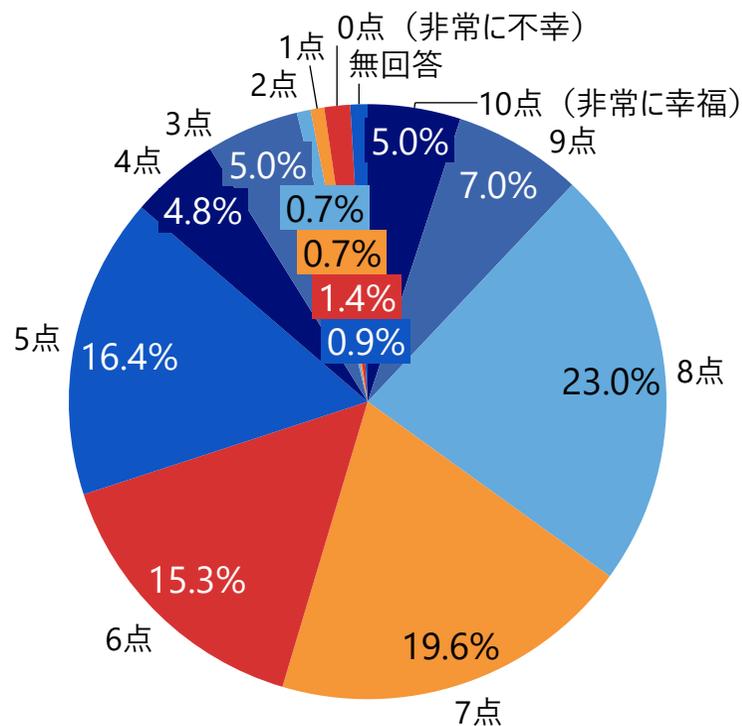
数値 (%) は、サンプル数 (無回答を含む) に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値 (%) は必ずしも100 (%) にならない

III 生活の満足度・幸福度について

幸福度を10点満点で自己採点した結果、全体の平均点は6.1で、10～20代の若年層と60歳以上の高齢者層が感じる幸福度が高く、30～40代が比較的低い傾向にあります。

あなたが感じている幸福度

(N=884)



		平均点
総数		6.1
性別	男性	6.0
	女性	6.1
年代別	15歳以上20歳未満	7.4
	20歳以上30歳未満	6.5
	30歳以上40歳未満	5.4
	40歳以上50歳未満	5.9
	50歳以上60歳未満	5.7
	60歳以上70歳未満	6.3
	70歳以上	6.2

平均値を計算する際、分母に無回答者数を含まない

【アンケート設問】

Q25 あなたはどの程度幸福だと感じていますか。「非常に幸福」を10点、「非常に不幸」を0点として、あなたは何点ぐらいになるか、あてはまるものをお知らせください。(○はひとつ)

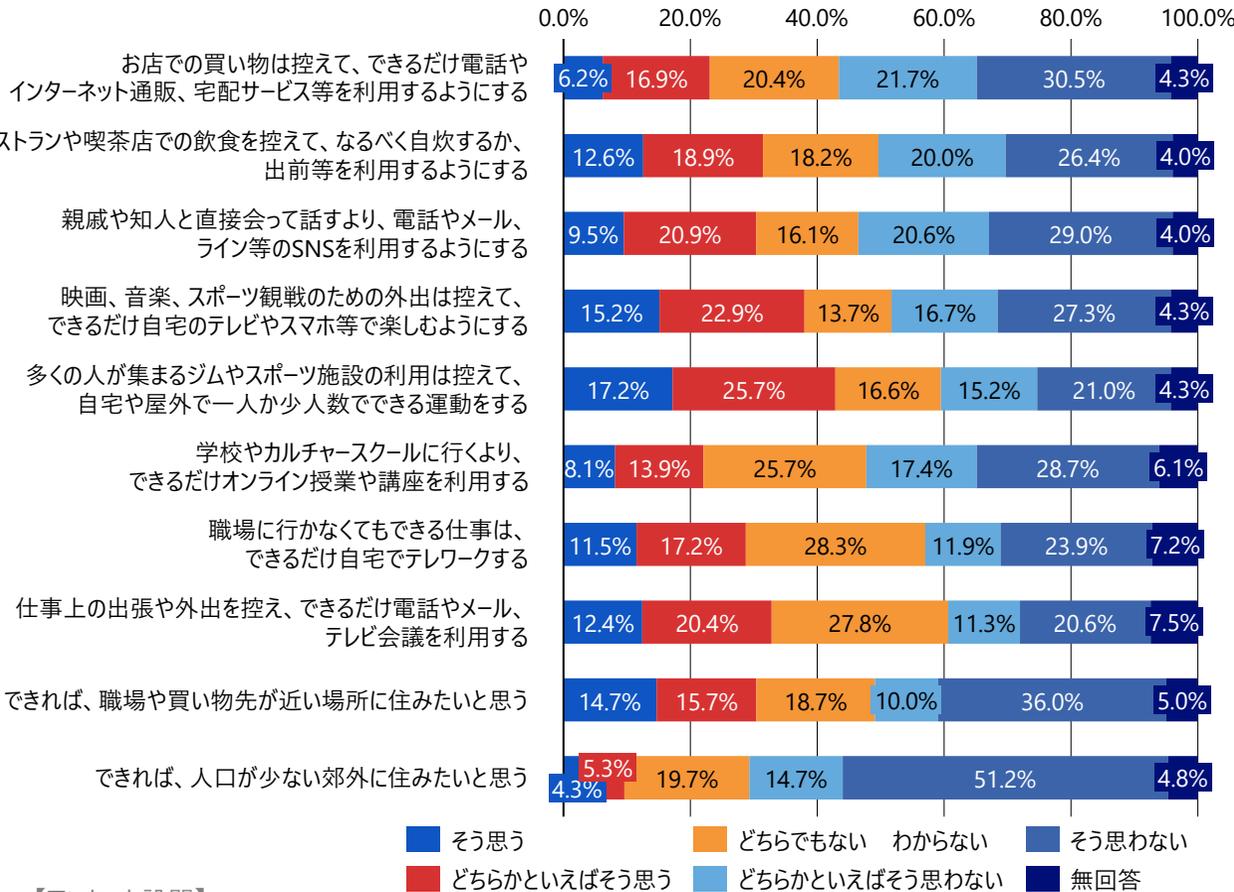
数値(%)は、サンプル数(無回答を含む)に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値(%)は必ずしも100(%)にならない

IV 生活行動変化

コロナ収束後も、外出や人との対面を伴う活動を控える傾向が続き、新たな生活様式として定着する可能性があります。

今後の生活行動

(N=884)



	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらでもない	わからない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
お店での買い物は控えて、できるだけ電話やインターネット通販、宅配サービス等を利用するようにする	6.2	16.9	20.4	21.7	30.5	4.3	
レストランや喫茶店での飲食を控えて、なるべく自炊するか、出前等を利用するようにする	12.6	18.9	18.2	20.0	26.4	4.0	
親戚や知人と直接会って話すより、電話やメール、ライン等のSNSを利用するようにする	9.5	20.9	16.1	20.6	29.0	4.0	
映画、音楽、スポーツ観戦のための外出は控えて、できるだけ自宅のテレビやスマホ等で楽しむようにする	15.2	22.9	13.7	16.7	27.3	4.3	
多くの人が集まるジムやスポーツ施設の利用は控えて、自宅や屋外で一人か少人数でできる運動をする	17.2	25.7	16.6	15.2	21.0	4.3	
学校やカルチャースクールに行くより、できるだけオンライン授業や講座を利用する	8.1	13.9	25.7	17.4	28.7	6.1	
職場に行かなくてもできる仕事は、できるだけ自宅でテレワークする	11.5	17.2	28.3	11.9	23.9	7.2	
仕事上の出張や外出を控え、できるだけ電話やメール、テレビ会議を利用する	12.4	20.4	27.8	11.3	20.6	7.5	
できれば、職場や買い物先が近い場所に住みたいと思う	14.7	15.7	18.7	10.0	36.0	5.0	
できれば、人口が少ない郊外に住みたい(引っ越したい)と思う	4.3	5.3	19.7	14.7	51.2	4.8	

【アンケート設問】

Q26 今後、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の定常化や治療薬の開発が進み、感染拡大が抑制されるようになった場合、あなた自身の生活行動はどのように変化するとお考えですか。以下の項目別にお答えください。(それぞれ○はひとつ)

数値(%)は、サンプル数(無回答を含む)に占める割合を四捨五入しているため、合計の数値(%)は必ずしも100(%)にならない

The text is framed by two decorative swooshes. The top swoosh is a gradient bar transitioning from blue on the left to red on the right. The bottom swoosh is a solid blue bar.

Share the Next Values!